



# 大山～出雲エリアの 観光情報を網羅!! 山陰観光・ 旅のポータルサイト

**11/1 WED** **グランド  
オープン!!**



数ヶ月を掛けて準備されてきたサイトがいよいよ本格稼働。お祭りやイベントの最新情報、グルメや縁結び、絶景特集、体験プログラムなどなど...、地元暮らし私たちが「知って得する」ありがた〜いレジャー情報がいっぱい。ふるさとの歴史や文化もたっぷり、しかもやさしく紹介されているので、子供たちにもぜひ見せたい内容となっています。

<http://furusato.sanin.jp/>

例えば...  
雑誌風の誌面作り!読んで楽しい月替わりの特集記事がいっぱい!  
地元民も知らない?トリアナ知識・情報が盛りだくさん!  
日々更新、山陰のレジャーやイベントのリアル情報も充実!  
大山～出雲エリアのレジャースポット450件以上の施設情報を紹介!

●オープニング企画第1弾  
「山陰いいとこ!11行メッセージ募集!」  
山陰の良さを100字以内にまとめ、PCあるいは携帯電話からどんどん投稿して下さい。すぐれた作品には豪華!プレゼント。詳細はHPで。応募締切は12月10日(日)。第2弾も準備中!

●問い合わせ/TEL.0859-22-5131 (米子商工会議所)

## 神々のふるさと山陰の 冬の伝統行事

**美保関 諸手船神事**  
12月3日(日)  
※見どころは午後1時頃から  
2艘の諸手船に白装束姿の氏子が乗り込み、港内で水を掛け合いながら漕ぎ競いあう山陰の初冬の風物詩、「国譲り」の神話を今に伝える国の重要文化財です。今年ちょうど日曜日。ぜひ一度ご覧ください。  
●問い合わせ/TEL.0852-72-2811

**出雲大社 吉兆神事**  
1月3日(水)  
※見どころは大社本殿前で午前9時頃から  
正月3日早朝から、神楽衣装に鬼の面をつけた先祓い役の「番内」が「悪魔払い、悪魔払い」と大声を上げて厄を払い清め、「歳徳神」と大きく縫い込まれた高さ10mもある金欄の幡の「吉兆さん」が各町内の若者達に担ぎ出されて氏神や出雲大社で新年の祈りを捧げ、町内を練り歩きます。  
●問い合わせ/TEL.0853-53-2112 (出雲観光協会)



## 世界へ発進!元気な山陰 ものづくりフェア2006

12/8(金)~10(日) 10:00~17:00  
会場/米子コンベンションセンター  
電気、機械金属、環境リサイクル、建材、食品などなど、鳥取県内から中海エリアに至る企業のものづくりの先端技術や優れた製品が一堂に集結!!一見ちょっと堅そうなイベントですが、実は!!家族で出かけてみれば、さまざまな楽しみがいっぱい。「ロボット相撲」や「マイコンカーラー」は毎年大好評!「ものづくり体験コーナー」もファミリーに大人気です。(いずれも9日に実施)数多くのブースはそれぞれに興味深い展示がされています。「ものづくり」の面白さ、そして大切さがきくと実感できるはず!!

●問い合わせ/TEL.0857-52-6762  
(財)鳥取県産業振興機構内  
山陰中核地域ものづくりフェア実行委員会事務局



料金値下げで  
ガンガン滑れる  
大山スキー場!!

宿泊して「どっぷり」楽しむ時に便利な共通2日券(大人8600円、子供6500円)の登場。そして「さくっ」とハーフデーで楽しむ共通半日券が大幅に安く(大人3000円、子供2000円)、さらに「3~9券3000円」「ナイター券2500円」ということで、フリークエントスキーヤー、ボーダーには嬉しい、実にリーズナブルな料金



## うそつきとうふの日

12/8(金) 10:00~15:00  
会場/白鳳の里どんぐり館  
鳥取各地に、12月8日とうふを食べると、その年についたうそが帳消しになる、という昔からの言い伝えがあります。名水とうふで知られる白鳳の里では、来館者にとうふが入った豆乳鍋が振舞われ、ついたうそを紙に書いて、どんぐりポストに入れると、神社でお祈りをして燃納され、うそを帳消しにしてもらえます。思わずついしまった微笑ましいうそや絶対ナイショのうそなど、誰にもうその一つや二つはあるのでは。とうふを食べて、今年のうそは今年のうちに帳消しにしませんか。●問い合わせ/TEL.0859-56-6798

## 大山国際人工降雪ゲレンデ 12月9日OPEN 大山スキー場開き祭 12月23日

体制になりました。極め付けは、駐車料金をリフト券購入時にキャッシュバック(平日限定)というサービスも。そんなこんなで今シーズンの大山のスキーシーズンは熱くなりそうです!(※共通一日券は大人4800円、子供3500円)  
●問い合わせ/TEL.0859-53-3110 (大山スキー場管理組合)

## 季節の花、季節の味覚



●山茶花(さざんか)  
寒さが一段と厳しくなる頃、冬枯れの景色の中に咲く楚々とした花々。散って降り積もる花びらには、どこかかかない風情が感じられます。「山茶花」の漢字表記は、ツバキ類一般を示す中国語「山茶」に由来し、その本来の読み方「サンサカ」が訛って「サザンカ」となったのだとか。花言葉は諸説あるようですが、ここでは敢えて「困難に打ち勝つ、ひたむきさ」に。



●ゆず(柚子)  
柚子は寒冷地でも育つ数少ない柑橘類で、生産量、消費量ともに日本が最大。調味料、香辛料、薬味として日本料理に欠かせない冬の味覚です。「入れば一年中風邪をひかない」と言われる冬至の「柚子湯」の習慣はまさに先人の知恵で、確かな科学的根拠もあるようです。因みに今年の冬至は12月22日。柚子の花言葉は「健康美」。